



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

# 南中だより 9月号

羽生市立南中学校

令和5年 8月30日発行

「最善策を検討する。考える。」～第2学期始業式式辞より～

校長 橋本 良典

先日の夏の甲子園、高校野球大会では、神奈川県慶応高校が107年ぶりの全国制覇を遂げました。その慶応高校は、これまでの高校野球の常識を考えさせる方針を示して努力しておりました。その中で気になったキーワードは、「最善策を検討する。考える。」ということです。何かあったとき、課題に直面したとき、それを乗り越える最善策を選手やコーチ、監督とともに話し合い、考え、判断した練習スタイル、プレイスタイルです。令和5年度第2学期の始業式式辞では、この慶応高校野球部の方針に触れ、2学期に努力して欲しいこととして…。

「互いに、自ら考え、判断し、意見を出して、よりベターな方法やよりよい最善策を考えて欲しいということです。「2学期の目標」「自分自身の課題」「自分の言動」「授業」「学校行事」「家庭での生活」「自然・環境との対応」「世の中の動き」「将来に向けての夢」など。小さなことでも結構です。物事の大事なこと・本質を見失わず、自ら考えて判断するとともに、互いの意見を聴き、最善策を考えて行く2学期にしましょう。

と、生徒に呼びかけました。この方針や活動のプロセスは、南中学校が2学期をスタートするにあたって、改めて参考にすべき事項であると考えており、本校の生徒の実態や発達段階に応じた指導を推進してまいります。また、夏休み中の生徒の活躍として…。

夏休みに入り、県大会等や各種発表会がありました。立派だったことは、どの競技等もフェアプレー・正々堂々と試合に臨んでいたことです。礼儀正しく中学生らしいプレー・発表をしておりました。このことは、とても誇らしく、部活動を通して培う一番大事なことであると考えます。また、県大会で敗戦した生徒が、頭が真っ白になり呆然とする様子や涙を流す生徒がおりました。県大会のステージという独特の雰囲気、緊張感やプレッシャーなど、これまでに味わったことのない感情が体験できたことは、とても尊く、価値のあるものであると感じております。

と、生徒の活躍を称賛しました。

第2学期も引き続き、御理解、御協力、御支援を賜りますようお願いいたします。

## 関東・全国大会で活躍 ～大舞台で躍動！～※個人名掲載について（承諾済み）

関東中学校陸上競技大会が、茨城県の水戸信用金庫スタジアム（笠松運動公園陸上競技場）で開催されました。110mHで埼玉県大会1位になった3年生の山本達己君が出場し、14.32秒の好タイムで見事4位に入賞しました。



関東大会に続き、愛媛県松山市で行われた、全国中学校陸上競技大会に出場しました。予選1組、第4レーンでスタートし、14.56秒で2着と



なりましたが、残念ながら決勝・TRに進めませんでした。この経験を今後の学校生活と競技生活に活かしてほしいと思います。



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	金	給食・清掃開始 避難訓練	17	日	
2	土		18	月	敬老の日
3	日		19	火	
4	月	第2回東部地区学力検査 生徒会専門委員会 月例費引き落とし	20	水	秋季総合体育大会（陸上）
			21	木	秋季総合体育大会（陸上）予備日
5	火		22	金	
6	水	登校指導日	23	土	秋分の日
7	木		24	日	
8	金	生徒会役員選挙	25	月	
9	土		26	火	秋季総合体育大会1日目 特別日課（4時間）
10	日				
11	月		27	水	秋季総合体育大会2日目 特別日課（4時間）
12	火	秋季総合体育大会代表者会議 北埼玉地区美術科授業研究会	28	木	秋季総合体育大会3日目 特別日課（4時間）
13	水				
14	木	秋季総合体育大会壮行会	29	金	秋季総合体育大会予備日
15	金		30	土	
16	土				

自己啓発の日：6日、12日、20日

下校指導：6日、12日、20日